



松北だより「笑顔」

第18号 令和6年 1月 19日(金)

◆ 学校教育目標

豊かな人間性と健やかな体を持ち、
新しい時代をたくましく生きる子どもの育成

北九州市立松ヶ江北小学校

校長 上 満 佳 子

電話 481-0614

梅一輪 一輪ほどの あたたかさ

学校の池の横にある梅が、数輪咲きました。明日は咲くだらうな、というつぼみもたくさんあります。少しずつ春に向かっていくことがわかります。子ども達も、それぞれの学級で、春に向かいながら進級の準備を行っています。

大谷翔平選手からグローブが届きました！

報道等でご存じだと思いますが、大谷翔平選手から、全国の小学校に3つ（左利き用1，右利き用2）のグローブが届きました。昨日の昼休み、お披露目会を行いました。グローブの入っている箱が届いたことを伝えると、集まった子ども達からの大きな歓声と拍手。箱を開け、6年生の代表の子どもにグローブを手渡すと、「思ったより軽い。」と満面の笑顔でした。グローブを一人一人手にはめてみながら、「わ、サインがある。」「野球しようぜ！と書いている。」「かっこいい。」「やわらかい。」など口々に



感想を話していました。大谷選手からの手紙が同封されていました。「私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。」と記されていました。子ども達にたくさん使ってほしいです。



自分の命を自分で守れる子どもに！

1月16日、地震津波避難訓練を行いました。「阪神・淡路大震災」「東日本大震災」など震災の被害が風化されないように、毎年この時期に避難訓練を行っています。今年は悲しいことに元旦に起こった能登地方の地震から2週間たった日に行いました。本校は海に近い学校ですので、津波がきたことを想定して、少しでも高台へ避難する訓練を積み重ねてきています。2年前までは学校横の高台に避難していましたが、もし想定していた津波より大きな津波だったら、その高台から二次避難ができないということで、昨年度は、一次避難場所として松ヶ江北市民センターに全員で避難しました。今年度は、玉泉寺方面に向かう途中のセブンイレブン新門司インター店駐車場に避難させていただきました。

まず、各担任が、避難経路や実際に揺れがあった時に机がある場合の動作や地震による被害の様子や避難経路について各学級で指導しました。どんなに科学が進歩しても、地震の発生の予想がつかません。だからこそ、日ごろからの備えが必要だと考えています。

セブンイレブン新門司インター店駐車場まで全校で避難しましたが、6年生を先頭にどの学年も黙って、真剣に避難することができました。6年生の真剣さが、全校の真剣な雰囲気を作り上げていたと感じます。日頃からの備えやいざとなったときの自分の命を守るための判断の大切さを話しました。真剣な避難の様子を、松北市民センターの小牟田館長がご覧になって、子ども達の避難の態度が立派だとたくさんお褒めの言葉をいただきました。



